

学校だより

平成30年1月9日発行

第9号

朝霞市立朝霞第四中学校
〒351-0012 朝霞市栄町5-1-60
TEL: 048-466-4711
FAX: 048-467-4744
E-mail: 4chuu@asaka-c.ed.jp
文責: 校長 唐松善人

目指す学校像 一人一人が輝く 明るく楽しい学校 あたたくきれいな学校

吉 凶



新年、明けましておめでとうございます。保護者や地域の皆様方におかれましては、希望に満ちた平成30年の新春をお迎えのことと存じます。旧年中は、本校の教育活動に對しまして、御理解及び御協力をいただきましたことに心より御礼申し上げます。誠にありがとうございました。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、私が小学生の頃、正月になると両親とともに初詣によく行きました。そして、おみくじを引いたことを覚えています。小学生ながらも、「吉」が出ると今年は良いことが起こりそうだと喜び、「凶」が出てしまうと良くないことが起きてしまうのではないかと不安になったものです。

この「吉」と「凶」に関してですが、今年の正月にある言葉と出会いました。それは、「窮達（きゅうたつ）は命（めい）なり。吉凶は人に由（よ）る」という言葉です。窮達とは困窮と栄達の意であり、命とは自分の力ではどうにもならない運命のことです。つまり、「窮達は命なり」とは、長い人生の中で、困窮に陥ってしまったり、栄達に恵まれたりすることは、自分自身の力だけではなく運によって起こってしまうこともあるという意味です。そして、「吉凶は人に由る」とは、運によって起こった困窮や栄達を、「吉」とするのか、あるいは「凶」とするのかは、その人の受け止め方次第、考え方次第であるという意味です。

長い人生の中では、困窮に陥るときもあれば、栄達に恵まれるときもあります。今、栄達に恵まれているからといって、驕り高ぶる行動をとってしまえば、その栄達は後の「凶」の原因となってしまいうでしょう。逆に、困窮に陥っているときであっても、周囲への感謝を忘れずに、冷静に受け止めて努力し続ければ、その困窮は後の「吉」の原因となります。東西を問わず歴史を振り返ってみても、偉大な業績を残されている方の多くは、困窮の中から人生を飛躍させています。

本校の生徒も、卒業後、社会の中で自立して生きていく際、自分自身が原因ではないのに、困窮に陥るときがあるかもしれません。しかし、その困窮を人生の良薬と受け止めて克服して欲しいと願います。本校では、生徒一人一人の個性や発達段階を見極めながら、困難な場面を解決する能力を段階的に育成していきたいと考えます。



四中の様子



【高等学校の出前授業】

県立朝霞西高等学校の先生方が来校され、第2学年全クラスで授業を行ってくださいました。生徒からは、「とても分かりやすい授業でした」という感想が多く寄せられました。



【租税教室】

第3学年社会科の授業で、税理士会朝霞支部より3名の方を外部講師にお招きをして租税教室を実施しました。クイズ等を取り入れながら税の仕組みについて説明をしていただきました。



【校内ダンス発表会】

保健体育科の授業で学習しているダンス作品の質の向上を図ることを目的に、校内ダンス発表会を行いました。発表した生徒たちは、生き生きと自分らしさを表現していました。